

## AWC 総会以降の海外ゲストの活動(2月29日～3月2日)

### 2月29日／京都と大阪で労働運動交流、神戸集会

●朝 8 時 30 分 海外ゲスト全員で、きょうとユニオン iWai 分会の 176 日目の職場占拠スト現場を訪問して闘争の経過と今後の展望を伺い、AWC 総会で寄せ書きした檄布とカンパを渡して激励しました。お忙しい中、早朝から対応して下さいました iWai 分会と、きょうとユニオンの皆さん、ありがとうございました！最後の勝利まで頑張ろう！



●お昼過ぎに海外ゲスト全員が、全日建運輸連帯労組関西生コン支部の事務所と新しい生コン会館を訪問し、関西生コン支部の闘いの歴史と闘争課題について詳しいお話をうかがい、質疑も双方から活発に行われました。

●14 時 30 分からは、同じ生コン会館でケアワーカーズユニオン有志の呼びかけで、韓国ゲスト 2 名と、大阪の労働運動活動家のみなさんとの交流会がもたれました。大阪の労働運動の大きな流れや、介護労働運動の現状と課題をうかがい、韓国労働運動の現状についても報告し、活発な質疑応答が行われました。(夜は、京都の金属関係労働者の親睦の場である「ユニオン亭」にお招きいただきました。美味しい夕食ごちそうさまでした！)

●台湾、インドネシアの仲間は神戸へ移動して、「アジア労働者交流集会 in 神戸」集会に参加しました。台湾労働人権協会とインドネシアの民衆闘争戦線、新ジャカルタ・ボランティア運動から報告を行いました。台湾からはフェイスブックを活用しての若者へのアプローチなどが紹介され、質疑討論では、インドネシアからミズノの労働者の闘いについての報告もあり、関心を集めました。

3月1日 各地へ(岩国、名古屋、東京)



●米国、フィリピン、台湾、インドネシアの仲間は、毎月1の付く日に朝10時から開かれる「愛宕山見守りの集い」に参加し、12時から昼食を兼ねて、牛野谷南集会所で岩国住民との交流会を持ちました。その後、AWC 山口九州の皆さんの案内で拡大強化の進む岩国米軍基地を見学しました。「交流会はとても充実していました。来ていただいてよかったです」と山口の仲間から感想が届きました。



●名古屋で開かれた「東アジアの中で日韓『決着合意』を問う」集会(主催:「韓国併合100年」東海行動実行委員会)には、

韓国のホ・ヨングさんが参加しました。韓統連の康宗憲さんの講演に続いて、ホ・ヨングさんの連帯発言では、AWC 総会で特別決議を挙げた日本軍性奴隷問題と伊勢志摩サミット闘争について、日韓共同の闘いを呼びかけました。交流会も盛り上がりました。

●東京では、米国アンサー連合と韓国のアルバイト労組（ともに31歳）を招いて、労組訪問後、夕方から「国境を越えた青年の力で戦争と新自由主義を吹き飛ばせ！ 3. 1 国際交流集会」が、アジア共同行動首都圏の主催で盛況に行われました。

**3月2日 最終日(広島、釜ヶ崎、福山、京都若者企画、大阪水曜デモ)**

●午前中は、台湾、フィリピン、インドネシアのゲストが広島を訪問し、平和公園と資料館を見学しました。

●午後は各地に展開していた海外ゲストが再び大阪に集まり、台湾とインドネシア、韓国のアルバイト労組の代表は、14時から釜ヶ崎を訪問しました。釜ヶ崎日雇労働組合の仲間から3時間にわたって、闘いの歴史と現状を詳しく伺い、参加者は熱心にメモを取っていました。その後、地域を一巡して案内していただきました。ほんとうにありがとうございました！



●福山では、米国、フィリピン、韓国の3か国のゲストを招いて、「～アジア民衆と手をつなぎ戦争、貧困、格差のない社会を築こう！～国際連帯集会 in 福山」が開かれました。これは集会後の交流会での記念写真です。



●また同時刻に京都では、AWC 関西青年部の主催で、「韓国アルバイト労組交流会」が行われ、京都や大阪からたくさんの青年たちが参加しました(写真撮り忘れちゃった～;;)。基調報告に続き、韓国アルバイト労組の報告とともに、関西学生ユニオンやユニオンぼちぼちからも活動報告、また主催者や参加者から、日本軍「慰安婦」問題や、岩国や京丹後の米軍基地問題についても問題提起が行われ、今後も力を合わせて行こうと確認しあいました。

●インドネシアと台湾のゲストは釜ヶ崎訪問後、日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワークが毎月行っている大阪駅前の「水曜集会」に参加して発言させていただくことができました。関西ネットのホームページに掲載された報告記事から抜粋してご紹介します。



寒さの中にも、どこか春の気配が感じられる夜、70人の皆様のご参加で、賑やかに第115回水曜集会を行うことができました。(中略)恒例パウィチョロンの踊りに続いて、特別ゲストのアピールがありました。AWC(アジア共同行動)の一員として来日中の、労働運動・民衆運動の担い手の方々が発言してくださったのです。台湾の労働人権協会の方は、この場に参加予定だったのに急に来られなくなった韓国アルバイト労組の方の分も含めてアピールすると言われ、なんと韓国語で話してくださいました。日本軍の性奴隷制度は戦争犯罪であり、この問題を解決しない限り、日本は戦争犯罪をやり続けることになるとの指摘が、参加者一同の胸に深く響きました。韓国と台湾、共に闘い続けるとの言葉からは連帯の思いが伝わってきました。続いて、インドネシアの民衆闘争戦線の方は、インドネシアの民衆は日本の支配によって苦しめられ、とりわけ女性の受けた人権侵害は著しく、日本政府は被害女性に賠償しなければならない、我々はこの問題を、世界に今もある女性への性暴力とつながるものと捉えて闘い続けると宣言されました。水曜集会へ招いてくださったことに感謝している、この思いを母国で伝えたいとの締めくくりの言葉に励ましをいただきました。

～AWC 総会と各地展開にご協力いただいた皆さん、通訳・翻訳協力者の皆さんに感謝します～